

記者発表資料

平成24年 8月 2日
九州地方整備局
延岡河川国道事務所

「五ヶ瀬川水系コイヘルペスウイルス病対策本部」設置のお知らせ

本日8月2日、西臼杵郡五ヶ瀬町内の桑野内ダムでコイヘルペスウイルス病が確認された旨、宮崎県漁村振興課から記者発表がありました。

今のところ、桑野内ダム内のみで確認されており、他の河川等ではコイの異常死などは確認されていませんが、情報の収集と共有が必要なため、平成24年8月2日付けで国土交通省延岡河川国道事務所に「五ヶ瀬川水系コイヘルペスウイルス病対策本部」（対策本部長 延岡河川国道事務所長 春田 義信）を設置しました。

1. 目的

五ヶ瀬川水系及びこれと接続一体をなす水面におけるコイヘルペスウイルス病発生に対し、関係機関と連携を図り、必要な対策を講じるため。

2. 対策本部の対応方針

・監視体制の強化

河川巡視を強化し、水面の監視を重点的に行います。

・迅速な処分

国の管理区間内で斃死したコイを確認した場合は、回収・処分を行います。

・関係機関との情報の交換

宮崎県延岡土木事務所及び宮崎県西臼杵支庁との情報の交換、さらに宮崎県漁村振興課と連携を取り、必要に応じて監視体制の強化を行います。

【問い合わせ先】

国土交通省 延岡河川国道事務所

技術副所長 鹿毛 英樹

河川管理課長 吉田 久康

TEL：0982-31-1155（代表）

0982-31-1167（直通）